

令和3年度厚生労働科学研究費補助金(認知症政策研究事業)

併存疾患に注目した認知症重症化予防のための研究

分担研究報告書

「認知症者の併存疾患管理の手引き」作成のための文献検索・・・ 食道癌・胃癌

研究分担者 八木浩一 東京大学大学院医学研究科 消化管外科学講師

研究要旨

認知症と食道癌・胃癌に関する国内外のガイドラインの調査を行い、検索した論文から認知症患者の胃癌・食道癌の治療について指針を作成するための論文を抽出した。

A. 研究目的

認知症患者の食道癌・胃癌の治療について文献・診療ガイドラインからエビデンスを収集し、治療指針について提言する。

B. 研究方法

Pubmedで2021年11月20日までの10年間の文献を検索した。国内の食道癌・胃癌と認知症に関するガイドラインを検索した。

研究結果

検索ワード: Demantia, Cognitive Dysfunction, Alzheimer Disease で抽出した認知症に関連する31385文献と、検索ワード: Neoplasms, Carcinoma から抽出した癌に関連する348089文献、Esophageal Neoplasms, Stomach Neoplasms で抽出した食道癌・胃癌に関連する14462文献、検索ワード: Therapeutics, Disease Management,

Diagnosis, Prognosis, Care から抽出した治療に関連する2365564文献を用いて検索した。認知症および胃癌・食道癌関連のキーワードを満たす文献は4つのみで、内容は本研究に関連のないものであった。認知症関連、癌関連、治療関連のキーワードをすべて満たす473論文の要旨を査読し、本研究の参考となる21論文を抽出した。

日本胃癌学会編の胃癌治療ガイドライン2021年7月版において、認知症患者の胃癌治療についての指針について明記されていないが、「高齢者の切除不能進行・再発胃癌症例に対して化学療法は推奨されるか？」というクリニカルクエスチョンに対して「患者の状態をより適切に評価するため、国際老年学会では身体機能、併存症、認知機能、精神機能、社会的支援、栄養、老年症候群などの評価項目を含んだ高齢者総合的機能評価(Comprehensive Geriatric

Assessment, CGA)を提唱しており、今後これらの評価指標による治療選択の有用性が検証される必要がある」と記載があった。なお、日本食道学会編の食道癌診療ガイドライン 2017 年版には認知症関連の文言はなかった。

#### D. 考察

認知症患者の食道癌・胃癌治療について明確な指針は存在しない。本研究を介して新たな指針を提唱すべく、文献の解析を進める必要がある。

#### E. 結論

次年度は抽出した文献の解析を進める。

#### F健康危険情報

該当なし

#### G. 研究発表

なし

#### H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む。)

##### 1. 特許取得

該当なし

##### 2. 実用新案登録

該当なし

##### 3.その他

該当なし